

研 究 分 野	海洋構造	部 名	浅海環境部
研 究 課 題 名	陸奥湾海況自動観測システム更新整備事業		
予 算 区 分	国交付金（強い水産業づくり交付金，電源立地地域対策交付金），県費		
試験研究実施年度・研究期間	H.17～18		
担 当	三津谷 正		
協 力 ・ 分 担 関 係	農林水産政策課，水産振興局漁港漁場整備課		

〈目的〉

海況自動観測システムによる陸奥湾の海況観測は、同湾の海洋環境・漁場環境モニタリングとして、また、ホタテガイなどの重要水産資源の成育環境モニタリングとして長期的に継続して行う必要がある。平成6年度更新の現用システムは、10年間の計画運用期間が経過し16年度に耐用年限が到来している。このため、17～18年度でシステム全体の更新整備を行うものである。

〈試験研究方法〉

平成16年度の新システム基本仕様検討委員会による仕様策定を経て、17年度に「技術提案公募による設計・施工一括発注随意契約方式」により技術提案を公募し、審査委員会により工事等実施事業者を選定した。次いで、同事業者に、実施設計を委託して行い、基地局と青森ブイの更新、野辺地ブイの撤去工事を1期工事として発注、施工した。18年度には平舘ブイと東湾ブイの更新、中継局の撤去工事を2期工事として発注、施工し、18年12月から新システムの本格運用を開始した。

〈結果の概要・要約〉

年 度	項 目	年 月 日	概 要
平成17年度	技術提案公募	17/4/27	「設計・施工一括発注方式による公募型随意契約実施要領」制定 「技術提案審査委員会設置要領」制定 同上委員選任（学識経験者委員3名，県職員委員5名）
		5/12	第1回技術提案審査委員会 技術提案公募説明書・技術提案仕様書を審議・決定
		5/13	技術提案公募揭示（県HP掲載，建設業界紙通知） 公募開始
		6/15	公募終了 2事業者応募（松下・PSSE・芙蓉特定共同企業体，日本無線・八千代エージ特定建設工事共同企業体）
		7/8	第2回技術提案審査委員会 技術提案ヒアリング，提案審査 採択提案事業者として松下・PSSE・芙蓉特定共同企業体を選定
	実施設計	7/15	更新工事実施設計委託随意契約締結・発注 事業費：16,275,000－ 契約者：松下・PSSE・芙蓉特定共同企業体 （設計担当構成員 芙蓉海洋開発（株））
		9/16	完成
	工事施工	10/19	17年度更新工事請負随意契約締結・発注 事業費：109,515,000－ 契約者：松下・PSSE・芙蓉特定共同企業体 （工事担当構成員 松下電器産業（株）， パナソニック SS エンジニアリング（株））
		17/10/26	着工
		18/3/30	完成
平成18年度	工事監理	17/10/24	17年度更新工事監理随意契約締結・発注 事業費：2,667,500－ 契約者：松下・PSSE・芙蓉特定共同企業体 （設計担当構成員 芙蓉海洋開発（株））
		18/3/31	完成
	工事施工	18/6/20	18年度更新工事請負随意契約締結・発注 事業費：219,660,000－ 契約者：松下・PSSE・芙蓉特定共同企業体 （工事担当構成員 松下電器産業（株）， パナソニック SS エンジニアリング（株））
		18/6/21	着工
		18/11/24	完成
	工事監理	18/6/20	18年度更新工事監理随意契約締結・発注 事業費：5,250,000－ 契約者：松下・PSSE・芙蓉特定共同企業体 （設計担当構成員 芙蓉海洋開発（株））
		18/11/30	完成

〈主要成果の具体的データ〉

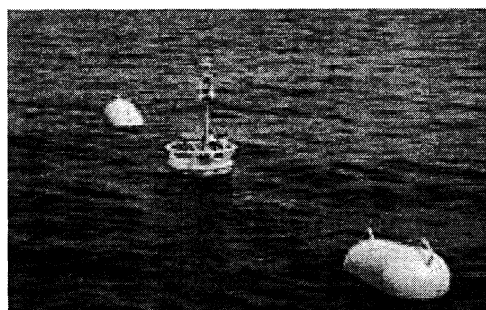
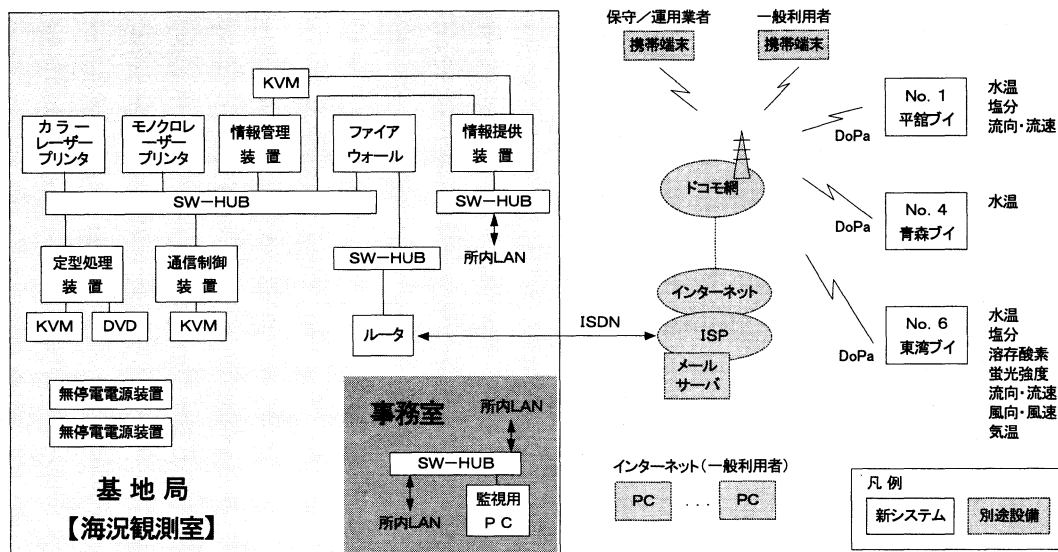


図2 新システムの青森ブイ（左）と平館ブイ（右、東湾ブイも同型）

表1 新システムの観測項目

観測ブイ	観測地点	観測水深	観 測 項 目						
			水温	塩分	溶存酸素	蛍光強度	流向流速	気温	風向風速
No. 1 平館	湾口部 外ヶ浜町平館沖 41° 9.22' N 140° 40.37' E 水深 47m	1m	○	○			○		
		15m	○	○			○		
		30m	○	○			○		
		45m	○	○			○		
No. 4 青森	西湾 青森市久栗坂沖 40° 55.20' N 140° 47.41' E 水深 45m	1m	○						
		15m	○						
		30m	○						
		44m	○						
No. 6 東湾	湾央部 むつ市川内沖 41° 6.25' N 140° 57.77' E 水深 49m	海上約4m						○	○
		1m	○	○		○	○		
		15m	○	○			○		
		30m	○	○	○		○		
		48m	○	○	○		○		

流向流速は、4m, 6m, 8m, 10m, 15m, 20m, 25m, 30m, 35m, 40mの10層観測

〈今後の問題点〉〈次年度の具体的計画〉〈結果の発表・活用状況等〉

18年度事業終了。次年度具体的計画等はなし。